

全国・県学力・学習状況調査の検証

和光市立第三小学校

【全国学力学習状況テスト結果（6年）】

〈教科に関する調査〉

- ・国語、算数共に全国の平均正答率を大きく上回っている。
- ・国語は知識・技能、思考・判断・表現の領域で平均正答率を大きく上回っている。
- ・算数は数と計算、図形、変化と関係、データの活用の領域で平均正答率を大きく上回っている。
⇒学習の基礎・基本の定着を図り、自分の思いや考えを持ち、主体的に伝え合う児童の育成にさらに努める。

〈生活習慣や学習環境に関する質問紙調査〉

- ・家で計画的に学習する時間をしっかり確保し、積極的に家庭学習に取り組むことができる。
- ・自己肯定感や自己有用感がとても低く、将来の夢や目標も持てていない。
⇒児童一人ひとりが心身ともに十分に満ち溢れた状態になるように、自分の存在が認められる学校生活を充実させる。

【県学力学習状況調査結果（4・5・6年）】

〈教科に関する調査〉

- ・各学年共に県の平均正答率を大きく上回っている。
- ・4年 国語、算数とも正答率の高い割合が多い。
- ・5年 国語、算数とも正答率が高い割合が多い。国語では二極化の傾向が見られる。
- ・6年 国語、算数とも正答率が高い割合が多い。算数では二極化の傾向がみられる。
⇒学習の基礎・基本の定着が図れてはいるが、算数では学年が上がるにつれ、二極化が顕著となっている。その学年で身につけなければならない学習内容を確実に習得させる。

〈家庭での生活習慣等に関する質問〉

- ・学校での生活は楽しい、友達が自分のよいところを見てくれている、と答えた児童の割合が高かった。
- ・自分にはよいところがあると思う、難しいことでもおそれないで挑戦している、将来の夢や目標をもっている、と答えた児童の割合が低かった。
⇒自分の考えを持ち、友達の考えのよさを認めることで、自分の考えがさらによくなるよう、学び合い活動を積極的に取り入れる。何事にも積極的に挑戦し、成功体験を多く積ませる。

〈規律ある態度質問紙調査〉

- ・4. 整理整頓、5. あいさつ、8. やさしい言葉づかい、9. 学習準備、10. 話を聞き発表をするは県の達成率を下回っている。
⇒生徒指導、学習規律の確立を通して、基本的な生活習慣の徹底を図る。

以上の結果を踏まえ、全ての学校教育活動を通して、学力向上、基本的な生活習慣の徹底、学習規律の確立、自己肯定感・自己有用感を高め、「元気な三小学校」を創り上げていく。